

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	2016年から2017年に当院で喉頭を全摘出され、後治療を含めた治療が完了した患者のうち、発声管形成術（天津法）を併用した症例は除いた患者19例			
② 研究課題名	喉頭摘出患者の周術期永久気管孔管理 -プロヴォックスカミングホームを用いた永久気管孔ケア-			
③実施予定期間	承認日 ～ 2018 年 3 月			
③ 実施機関	静岡がんセンター			
④ 研究代表者	氏名	神田 亨	所属	静岡がんセンター リハビリテーション科
⑤ 当院の研究代者	氏名	神田 亨	所属	静岡がんセンター リハビリテーション科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	喉頭摘出患者は発声障害以外にも永久気管孔を起因とする呼吸器症状がQOLに影響を及ぼすことが先行研究によって明らかにされており、それに対する人工鼻の効果も報告されている。そこで今回、当院で行うようになった周術期の人工鼻による永久気管孔管理の実態を調査し、その問題点などを明らかにすることを目的とした。			
⑨方法	19例を対象にして、人工鼻について、術後装着開始までの日数、術後装着および退院後装着継続の可否と不可の場合の理由を後方視的に調査する。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2018 年 2 月 27 日	
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表される可能性があります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供也没有ありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線3379） 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長